

平成26年度 緑の環境調査

身近な生きものの 生息分布調査報告書



佐久市

はじめに

佐久市では、自然に囲まれながら安心して暮らしていくことのできる環境を保全し、将来にわたって安全安心に住み続けることのできるまちづくりを推進しています。

「緑の環境調査」は、市内における身近な生きものの生息分布を調査することにより、自然環境の状況を把握し、地域づくりに役立てることを目的に平成4年度から実施しています。

平成25年度からは、調査種などの見直しを図り、佐久市の環境の状況を探るとともに、子供たちが身近な自然環境に対する関心を高め、自然を守ろうとする気持ちを育むきっかけとなるような内容としました。

この報告書は、平成26年度に実施した調査結果に考察を加え刊行したものです。

調査結果については、今後の環境保全に関する施策などに活用していきたいと考えています。



オオタカ

提供：岩元一男さん・やよいさん

ちょう さ ほう ほう 調 査 方 法

ちょうさきかん
・調査期間 6月～10月

ちょう さ しゅ
・調査種 ミンミンゼミ、アマガエル、ツバメの巣、コウモリ、セイヨウタンポポ

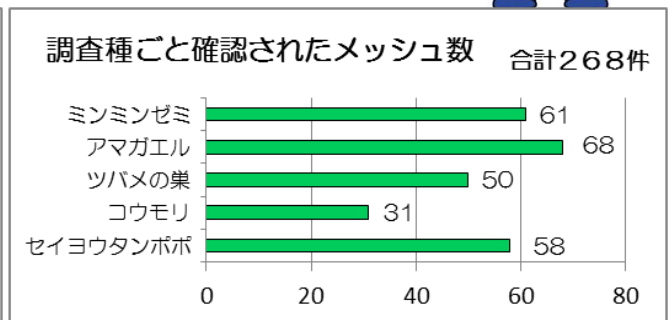
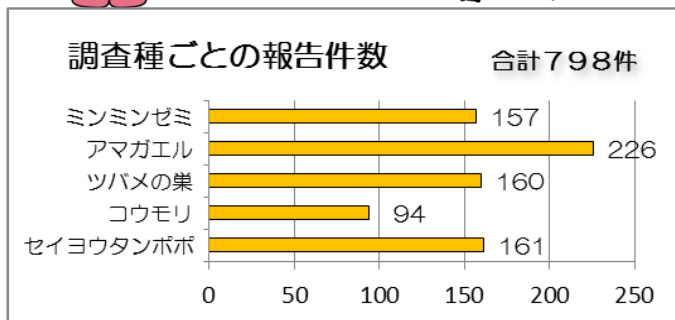


ちょうさこうもく
・調査項目 いつ、どこで見つけたか、特徴や感想など

かくにん ばしょ ちょうさいん くぼ ほうこく
(確認できた場所は、調査員にお配りした佐久市メッシュ図により報告していただきました。)

ちょう さ けつ か 調 査 結 果

よ
寄せられたハガキは206枚、5種類を合わせた報告件数は、798件でした。
生きものが確認できたのは、268メッシュでした。



きょうりよく ご協力いただいた先生方

専 門	氏 名 (敬称略)
昆虫類 コンチュウ	井 出 勝 久 イ デ カツ ヒサ
鳥 類	木 内 清 キ ウチ キヨシ
ほにゅう類、はちゅう類、両生類、魚類 リョウセイ キョ	篠 澤 明 剛 ササ サワ アキ タケ
植物類 ショクブツ	中 山 洸 ナカ ヤマ キヨシ

～ここからはそれぞれの種についてくわしく見ていきましょう～

ミンミンゼミ

こんなことが分かりました！



○今年はいつもどおりの時期（7月がピーク）
に鳴きはじめてみたい。

○地球温暖化で気温が上がると、鳴き始めの
時期がはやくなったり、いろいろな影 響が
出ることが考えられるので、これからも見守
っていくことが大切だね。

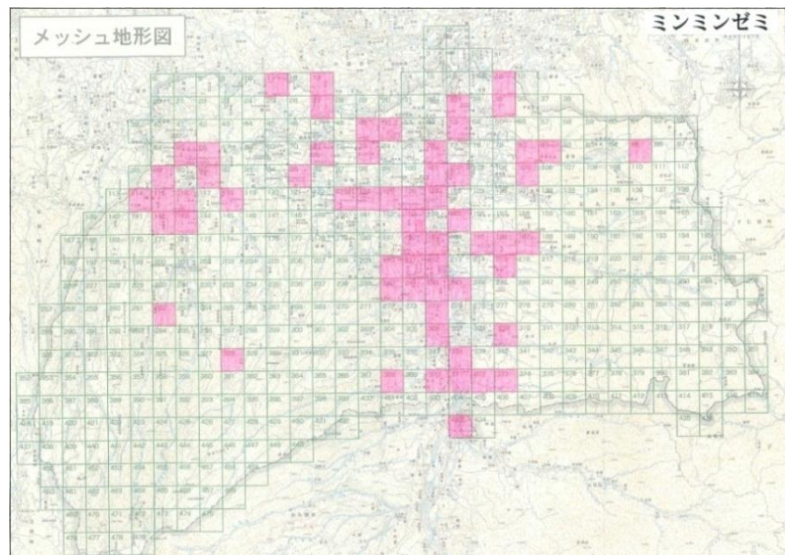
鳴き始めの時期	件数（主な日付）
5月下旬	8件
6月中旬	15件
7月上旬	14件(7/3・7/4・7/10)
7月中旬	33件(7/15・7/18・7/20)
7月下旬	16件(7/21・7/23・7/26・7/27・7/30)
8月上旬	17件(8/1~8/5・8/9)
8月中旬	12件(8/14・8/20)



先生からのコメント

昨年と同じように、今年も発生は多く、いつも通りの発生時期と、数でした。
一方、セミの仲間のヒグラシの鳴き声が昨年と比べてとても少なく、夕方になるとず
しげに鳴いてくれる声が、あまり聞かれませんでした。
ただ、3年前にはミンミンゼミの鳴き声がとても少なかったことを思うと、年ごとにセ
ミたちの発生には、その種類ごとにばらつきがあります。
セミだけではなく昆虫たちには、エサとなる虫や植物の数、天敵の数によって年ごと
発生する数が変わります。

温暖化で気温が上がると
動植物にいろいろな
影 響が出るんだ。



みなさんからの感想

- ずっとミーミミミミとなっていた。(望月小学校)
- 久しぶりの夏の元気な声です。(佐久おやじの会)
- 今夏はセミが鳴きませんでした。この日(8/1)はたまたま家の庭に来て2声3声鳴いて去りました。それっきりです。(たんぽぽ俳句会)
- 昼頃から近くの畑から鳴き声が聞こえてきた。時期も終わりと思っていたが、この日(9/21)は朝から日差しが強かった。(一般調査員)

おしえて!先生!コーナー

ミンミンゼミは本当に一週間しかいきられないの?



★こたえ

セミのなかまは、じつは昆虫の中でもとても長生きな種類なのです。

ミンミンゼミは、卵から幼虫、そして成虫(大人)になって、子孫を残すために一生懸命鳴いたあと、その一生を終えます。卵として生まれてから数えるとだいたい6年~7年も生きてることになります。

また、成虫になって地上に出ても1か月近くは生きています。

外でつかまえたセミがすぐに死んでしまうので、短い命のように思われていますが、外でつかまえた時には地上に出てもう何日も経っているかもしれませんよね。

また、カブトムシのようにエサをあげて育てられないこともあって、すぐに死んでしまうように思われているだけでしょう。

何年も土の中にいて、大人になってからは1か月の命であることからセミの命が短いというように伝わったのかもしれませんがね。



へ~!
ミンミンゼミっていが
いと長生きなんだあ!



アマガエル

こんなことが分かりました！



○田んぼのまわりにたくさんアマガエルがす
んでいるけど、山や、開発が進んでいる町中
にはあまりいないみたい…どこにでもいる
ように思えるアマガエルだけど、環境によ
ってすみにくい場所があるんだね。

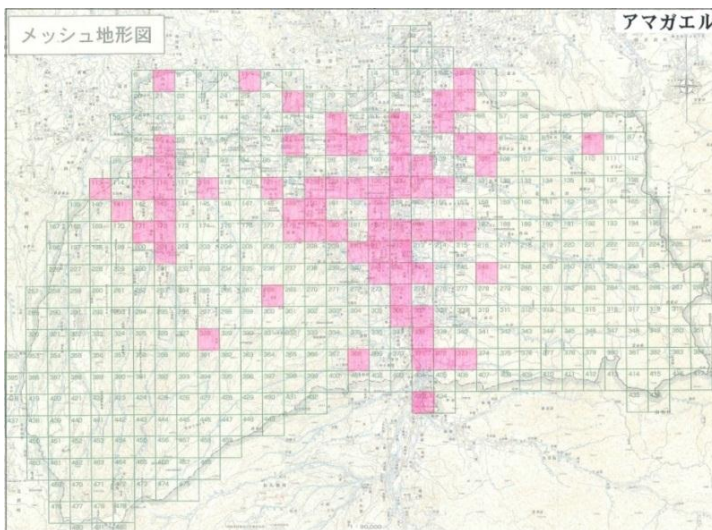
○みなさんがよく観察してくれたおかげで、
いろいろな場所でさまざまな色のアマガエル
が見つかったよ。

先生からのコメント

みなさんからの報告をもとに作った分布図を見ると、田んぼなどでの発見が多い
ようです。

一方、山間部や開発が進んでいるところからの報告は少ないようです。

それから、寄せられた情報には、カエルがいつどこでどんな様子だったか、そ
の感想もくわしく書かれていて、みなさんの関心の高さが感じられました。とくに
小さいお子さんからの報告が多く、生きものに対してとても興味をもってしてくれてい
るということが分かりました。



みなさんからの感想

- ・アマガエルはすごくたくさんいて、びっくりしました。カエルってそんなにたくさんうむんだーと思いました。(望月小学校)
- ・アマガエルがあみどにいる時、あみどにいる虫を食べていた。(野沢小学校)
- ・すごくとんでいた！(岸野小学校)
- ・道路、家の庭のものは周囲の色に合わせて白っぽくなって、黒の模様もようの入った色になっているのも数匹すうひきいます。(一般調査員)
- ・アマガエルの数が少なく感じます。減っているのでしょうか。(一般調査員)

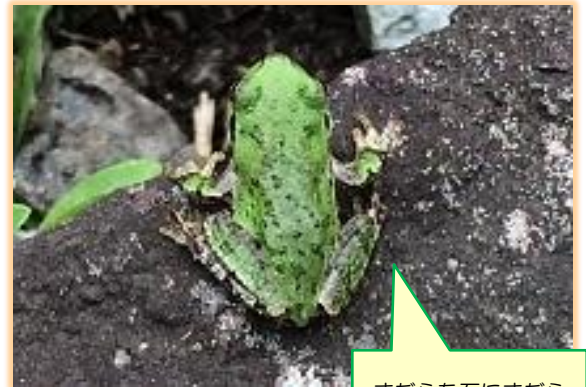
ポイント！

アマガエルは周囲の環境まわかんきょうに合わせて体の色をかえることができます。

みなさん知っていましたか？

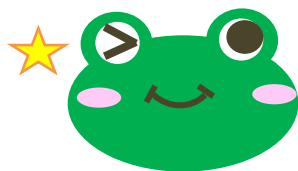
草むらからは緑色や黄緑、土からは茶色のアマガエルが見つかることが多いです。

色	件数	場所
緑	100件	川・草むら・田んぼ・庭・道路など
黄緑	14件	川・草むら・田んぼ・庭・道路など
茶	14件	土の上・田んぼ・庭など
灰	12件	草むら・石の上・カベ・道路など
白	4件	草むら・カベなど
黒	4件	草むら・田んぼ・石の上など
青	2件	草むら・田んぼ
まだら・雲	2件	草むら・石の上



まだらな石にまだらなカエルがいるね。

おしえて！先生！コーナー



アマガエルはどこにでもいるのかな？

★こたえ

アマガエルは田んぼがあるところに多くいます。

ただ、佐久平駅さくだいらいえきのまわりのように昔は田んぼで、アマガエルがたくさんいた所も、今は道路や建物たてもものが多くでき、カエルを見ることも少なくなりました。

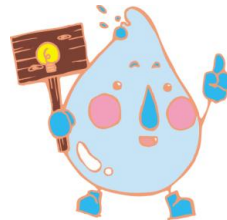


カエルは夜行性じゃないのになぜ夜になくの？

★こたえ

カエルは夜にもよく活動かつどうします。とくに繁殖はんしょくは危険きけんの少ない夜に行われることが多いので、夜に鳴くなのが目立つと思います。ほかには、レインコールと言って、雨がふる前にもよく鳴くなことがあり、天気を知らせてくれます。

ただ、カエルの種類しゅるいによってたくさん鳴く時間じきや時期はちがうので、図鑑ずかんなどでしらべてみましょう。



たくさんないいたら
雨がふる合図かも！



アマガエルがすめないところってあるの？

★こたえ

アマガエルは沖縄おきなわにはいません。伊豆七島いずしちとうにもいませんでしたが、外から持ち込まれて繁殖はんしょくするようになってきました。

また、例えば東京都心たととしんのような大きな都会とかいや、砂丘さきゅう、高山こうざんなどといったエサやすむ場所ばしょがないようなところでは、アマガエルをみることはまずありません。カエルは海水かいすいで生活することはできません。

田んぼや水辺がなくなるとぼくたち生きられなくなっちゃうんだ…



ツバメの巣



こんなことが分かりました！

○今年（ことし）はヒナの^{すだ}巣立った数が少なかったみたい。ただ、調査時期が2回目の子育て^{こそだ}の時期^{じき}の6月～8月であったことなども影響^{えいきょう}していそう。ちなみに1回目の子育て^{こそだ}では4～5月だよ。

○市街地^{しがいち}と農村部^{のうそんぶ}で巣立ったヒナの数^{すだ}にほとんど差^さがなかったよ。佐久市は町中からすぐ田んぼなどのエサ場^{かきょう}に行ける環境^{かんきょう}があるからかもしれないね。



みなさんからの感想

- ・ヒナのいないツバメの巣^すがいっぱいあった。（野沢小学校）
- ・新しく巣作り。巣立つ^すころにはまわりに沢山のツバメが来ていた。子育て^すのころは、軒下^{のきした}なので、なるべく出入りをしないように気を遣った。最初^{つが}元気^{さいしよ}のいい2羽がいなくなり、夕方には帰って来て、次の日には全部いなかった。（おもと会）
- ・途中、カラスに巣^すが襲^{おそ}われてしまった。（浅科写真クラブ）
- ・ツバメも昔より少なくなった。（山野草すみれ会）
- ・ツバメは飛^とんでいるのは見ますが、巣^すは見つかりませんでした。（草友会）

先生からのコメント

今回報告された巣のほとんどは、2回目の繁殖と再営巣（途中で卵やヒナがなくなり、繁殖をやり直したもの）でしょう。ツバメたちが4月から8月まで一生懸命子育てをしていることが分かります。

カラスに食べられてしまったり、巣が落ちてしまったとの報告がありました。ヒナが巣立つまでには試練も多く、ヒナの数の報告があった99巣の平均巣立ちヒナ数は2.9羽でした。日本野鳥の会の首都圏の調査では都心部が3.5羽、郊外が4.4羽なので、それに比べるとだいぶ少ないですが、今回の調査の多くが2回目の繁殖や再営巣だということを見ると単純に比較はできません。佐久市での4、5月の第一回目の繁殖ではどんな数値になるのでしょうか。

首都圏では、緑の少ない都心部と緑の多い郊外で巣立ちヒナの数に差のあることが分かっていますが、今回の調査では市街地と農村部でほとんど差がありませんでした。市街地から水田にえさをとりに出ることが比較的簡単な佐久市の状況を示していると思われますが、今回は例数が少なくてきちんとした比較はできませんでした。



市役所からもツバメたちが元気に巣立ちました！

ツバメは家に巣をかける鳥なので、報告のあったメッシュは市街地や周りの集落でした。ただ、軒がない建物や、カベがすべすべした建物には巣をかけられないので、住宅の建築様式が変わりつつある今は、ツバメにとって厳しい環境になってきています。

環境省の調査では、全国的にツバメが減っていることが分かっていますが、佐久市には豊かな水田や畑が広がり、ツバメのえさとなる飛ぶ昆虫も多いので、巣を作る場所さえ確保できればツバメの数も急に減ることはないと考えられます。

いずれにせよ、身近な鳥の一つであるツバメの生息状況は佐久市の自然の豊かさのバロメーターになるので、これからも注意してみたいものです。

- 首都圏…日本でいう東京及びその周辺をひとまとめにした地域
- 郊外…都市の周辺にあって、森林・田畑などが多い住宅地区



東京などの都心部よりそのまわりの地域のほうが育つヒナの数が多いんだね！

おしえて！先生！コーナー



ツバメはどういうところに^す巣をつくるの？

★こたえ

ツバメは人の家や物置^{ものおき}などの建物の軒下^{たてもの}に、泥^{のきした}でできた^{どろ}巣^すをつくりま^すす。カベ^{ちやくせつ}に直接^{はいきこう}くっつけたり、排気口^{しょうめいとう}や照明灯^{しょうめいとう}などの上^{うへ}にのせたりして作^{つく}ります。

最近^{さいきん}は、泥^{どろ}がつきにくい^{すべすべ}したカベ^{のき}の家^{たてもの}や、軒^{のき}のないビル^{たてもの}のような建^{たて}物がふえてきたので、巣^すを作る場所^{ばしよ}が足り^{たり}なくな^なっているよう^{よう}です。ヒナ^{まわ}のフン^{まわ}で周^{まわ}りが汚^{よご}れるのを嫌^{きら}って、巣^すが落^おとされてしま^{しま}うこと^{こと}もあり^あります。人^{ひと}の家^{いえ}に巣^すを作るのは、人^{ひと}がそば^{そば}にいとカラス^{おそ}やヘビ^{しんばい}などに襲^{おそ}われる心^{しんぱい}配^{ぱい}が少^{すく}ないから^{から}ではないか^かとか言^いわれていま^{いま}す。



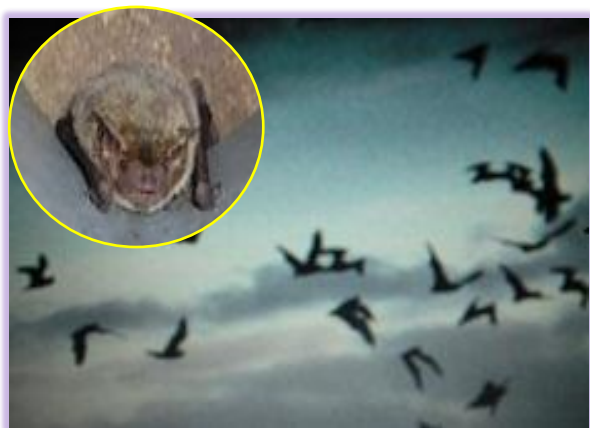
ツバメはどうやって虫^{むし}をつかまえるの？

★こたえ

ツバメは飛^とびながら、飛^とんでいる虫^{むし}をつかまえます。な^なので飛^とぶスピード^{はや}も速^{はや}く、方^{ほう}向^{こう}転^{てん}換^{かん}も上^{じょう}手^てですし、くちば^{くちば}しも幅^{はば}が広^{ひろ}くて虫^{むし}をつかまえやす^{やす}くな^なっています。

森^{もり}の中^{なか}のよう^{よう}なせ^せまい空^{くう}間^{かん}では自^じ由^{ゆう}に飛^とべない^{ない}ので、田^たんぼ^ぼや河^か川^{せん}など開^{ひら}けた場^{ばしよ}所^{じよ}でえ^えさ^さをと^とっていま^{いま}す。飛^とぶ虫^{むし}がツバメ^{つばめ}の命^{いのち}を支^{ささ}えている^{ている}ので、ヘリコプター^{へりこぷたー}を使^{つか}って広^{こう}範^{はん}囲^いに農^{のう}薬^{やく}がま^まか^かれてしま^{しま}うと、ツバメ^{つばめ}も命^{いのち}を落^おとすこと^{こと}になり^{なり}ます。

コウモリ



こんなことが分かりました！

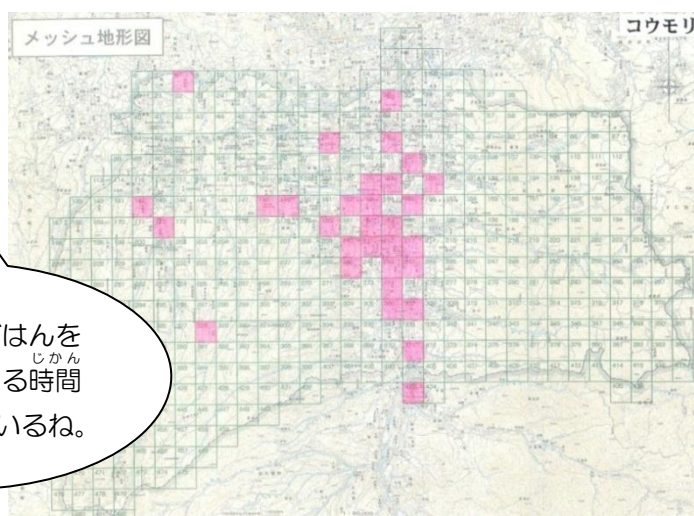
- 開発が進んでいる町中からの報告があまりなかったよ。都市化によってコウモリがすみにくくなっているのかもしれないね。
- 18時～19時ごろにたくさんコウモリが発見されたよ。ちょうどコウモリがエサを食べに出てくる時間と同じだね。

写真の一部は(株)防除研究所からご提供いただきました。

見た時間	件数
16時	4件
17時	11件
18時	27件
19時	15件
20時	2件
21時	4件
24時	1件
25時	1件



コウモリがごはんを
食べに出てくる時間
に目撃されているね。



先生からのコメント

今回の調査でコウモリは市の中央部分に多く集中していました。ただ、佐久平駅のまわりや佐久インターのそばなどから報告があまりないのは、都市化が進みコウモリも生活しにくい環境になっているのかもしれない。

ところで、今回の報告ではコウモリの発見時間が18～19時に集中しました。これは昼間は洞窟や家の影などに隠れていたコウモリが一斉に飛び立ち、昆虫を食べる時間でもあり、発見しやすかったのではないのでしょうか。

さて、調査員からは「コウモリが屋根裏に住んでいる」とか「コウモリが何時に出てきて、どこにいるのかわかりました。」「コウモリは7～10月に飛んでいる。」といった報告がありました。多くの方々がコウモリに関心をもって熱心に観察され、報告をしてくださったことに感謝申し上げます。

みなさんからの感想

- はじめてコウモリをみれた。(野沢小学校)
- コウモリが家に入ったのは初めてだった。(野沢小学校)
- 夕方に岩水の天ねん水で木がおおっていて、コウモリがいた。(青沼小学校)
- 夜の7時ごろにコウモリがいっぱい飛んでいた。(岸野小学校)

おしえて!先生!コーナー

コウモリは日本に何匹いるのかな?



★こたえ

くわしい調査はされていませんが、日本には35種のコウモリがいます。これは野生哺乳類の中で一番多い種類です(野生哺乳類のうち、約3分の1)。しかし、コウモリは数は減ってきているとも言われています。



コウモリが一番多くみられるのはいつかな?

佐久では主に4月頃～10月頃にみられます。夕方から明け方にかけて飛ぶことが多いです。



★こたえ

写真コーナー



コガネムシ

葉っぱを食べているね。

目の周りが白いからメジロっていうんだ。

メジロ



提供：中山厚志さん



先っぽに丸いのがあるのがチョウチョ、ないのがガなんだって!

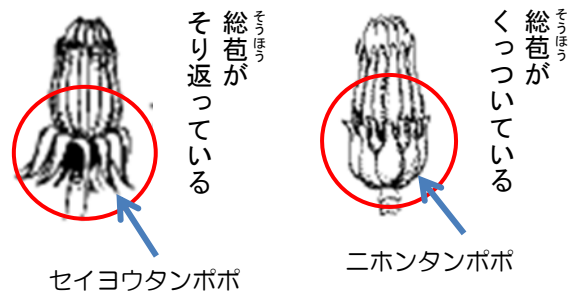
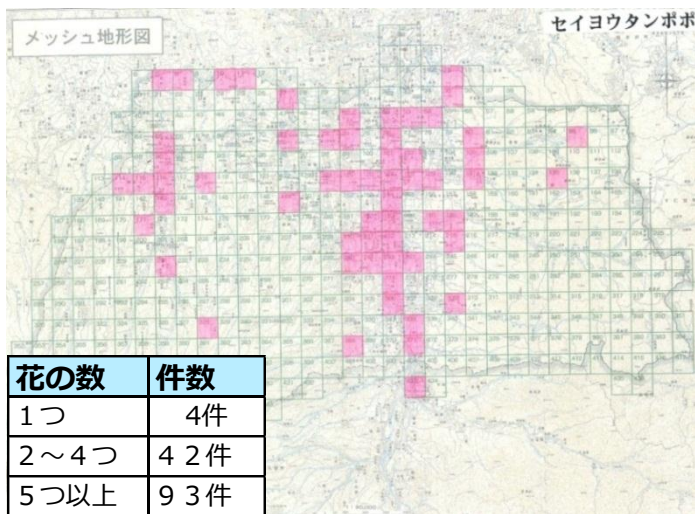


セイヨウタンポポ

こんなことが分かりました！



○町や集落からの報告が多く、私たちの身近にも広く咲いているということがわかったよ。もともと日本にはなく外国からやって来た種(外来種)だけど、今はニホンタンポポよりも多くみかけるようになったよね。ニホンタンポポは花を咲かせる期間も短く今ではなかなか見つけるのがむずかしいのかもしれないね。



見分け方をおぼえているかな？

先生からのコメント

セイヨウタンポポは町や集落の中に多いという報告となっていますが、今はかなり山の中まで広まっていますので、遠くへ出かけた時なども探してみてください。

予想としては、佐久市全体に生えているものと思います。

花の数については5つ以上の人が大変多くいますが、この調査の時期としては1株の花の数ではなく見た花全部を数えてくれたものと思いますがどうでしょう。

それにしてもセイヨウタンポポがこの夏から秋にかけてこんなに咲くというのは不思議ですね。ニホンタンポポは昔から春の花です。

みなさんからの感想

- 生き物を見つけたり、セイヨウタンポポなどの花もみつけられて、勉強になってよかったです。(望月小学校)
- セイヨウタンポポは年中ずっと咲いている。ニホンタンポポは5月頃綿毛になっているものを見た。(フォトアート浅科)
- 家の周りが田んぼで、土手いちめん咲いています。(おもと会)

おしえて！先生！コーナー

??



セイヨウタンポポはどういうところにあるの？

★こたえ

このことを知ってほしいと思い、この調査^{ちょうさ}をやってもらいました。
よく探^{さが}してもらおうと分かりますと思いますが、田や畑の土手や道ばたなどに多くあり、主に草の少ない場所^{ばしょ}です。林の中にはありません。

セイヨウタンポポとニホンタンポポの他にタンポポはあるの？



★こたえ

セイヨウタンポポ(外国^{がいこく}から来たタンポポ)にはアカミタンポポとセイヨウタンポポの2つがあり、ニホンタンポポにはシナノタンポポ、カントウタンポポ、カンサイタンポポ、ミヤマタンポポなどいくつか種類^{しゅるい}があります。

こんなタンポポもみつけられました！

シロバナタンポポはよくみつけられましたね。このタンポポは関西^{かんさい}地方のタンポポなので、佐久市では長く生きられないでしょう。見守^{みまも}ってください。



シロバナタンポポ 提供：山崎利江さん



ニホンタンポポは本当にあるの？どういうところにあるの？

★こたえ

ニホンタンポポの中で佐久市にあるのはシナノタンポポと言います。今はとても少なくなってしまうとよく探^{さが}さないで見つかりません。花は春しか咲きませんので、夏から秋に咲いているのはセイヨウタンポポです。ニホンタンポポは他の草と仲良^{なかよ}しなので草のたくさん生えている中にあります。林の中にはありません。探^{さが}してみてください。

そのほかの生きものたち

昆虫類

アオマツムシ アキアカネ アサギマダラ ウスバシロチョウ ウマオイ エゾハルゼミ エンマコオロギ
オオムラサキ オオルリボシヤンマ オニヤンマ カナカナゼミ カミキリムシ カンタン キリギリ
リス クスサン ゲンジボタル コガネムシ ゴマダラカミキリ コロギス ショウトンボ セスジツエ
ムシ ツツレサセ ネプトクワガタ ミヤクワガタ ハグロトンボ キバネツノトンボ ハルゼミ ハイ
ケボタル マイマイガ ミツカドコオロギヒグラシ ムギワラトンボ モンキチョウ ルリタテハ

○アオマツムシやネプトクワガタなどは、本来なら
ば暖かいところにすむ昆虫なので、いつ、どこ
で採集したという記録とともに現物が存在して
いるとすると、温暖化の影響によって生息する
範囲が北へと広がっていることが裏付けられる
と思います。



提供：岩元一男さん・やよいさん

○ムギワラトンボは方言で、シオカラトンボのメスとされます。また、一般にアカトン
ボと呼ばれる種はナツアカネ、アキアカネ、ノシメトンボ、ミヤマアカネ、マユタテア
カネ、マイコアカネなどで、夏の初めころに出てくるショウジョウトンボなどがありま
す。ショウトンボもおそらくショウジョウトンボとされます。カナカナゼミも方言で、
おそらくヒグラシでしょう。



クイズ!

これはなんの赤ちゃんでしょう!?
ヒント：背中に斑点のある昆虫!
こたえは16ページ

○今、日本には約3万種類の昆虫に名前が付けられていますが、一般には自然や昆虫
に興味がある方でも、20~30種類の名前が言えれば、もうよく知っている方と
言えるでしょう。

昆虫って日本だ
けで3万種類も
いるんだね。



みんなはいくつ
昆虫の名前を言
えるかな!?

はちゅう類・両生類

シマヘビ シロマダラ シュレーゲルアオガエル トウキョウダルマガエル ヤマカガシ

○シロマダラというヘビに関する情報がありましたが、シロマダラはまぼろしのヘビともいわれ、とてもめずらしく、なかなか発見できない貴重な種です。

シロマダラ



シュレーゲルアオガエル

鳥類 ★いくつ鳥の種類がわかるかな？

アオゲラ アオサギ アカゲラ アマサギ アマツバメ イカル イワツバメ インドハッカ ウグイス ウナイスズメ エゾビタキ オオタカ カッコウ ガビチョウ カワウ カワセミ カワラヒワ キジ キジバト クイナ クマタカ クロツグミ ゴイサギ コウライシギ コゲラ コノハズク ササゴイ シジュウカラ シロサギ スズメ セグロセキレイ ダイサギ チョウゲンボウ ツミ トガラス ドバト トビ トラツグミ ニュウナイスズメ ノスリ ハイタカ ハクセキレイ ハシブトガラス ハシブハチクマ ハヤブサ ハシボソガラス ヒクイナ ヒヨドリ アオバスク フクロウモズ ホトトギス ミサゴ ヤマガラ ヤマセミ ヤマドリ ヨタカ



ヤマガラ 提供：中山厚志さん

スズメ、トビ、キジバト、ハシボソガラス、ハシブトガラス、カワラヒワ、シジュウカラ、キジ、モズ、ヒヨドリ、ハクセキレイ、セグロセキレイなど、身近にすむ鳥がたくさん報告されています。これらの鳥たちも近ごろは数の減少が心配されていて、それが環境の悪化によるのではないかと危惧されています。これらの鳥たちと共存できる環境を守っていくことが大切です。

15ページの正解はてんとう虫！



ぜつめつ しんぱい ○絶滅が心配されている鳥

クマタカ、ハチクマ、ヨタカ、ササゴイ、ヒクイナ、クイナ、コノハズク、アオバズクなど近ごろ急に数が減って絶滅が心配されている鳥たちの報告もありました。

これらの希少な種類が、佐久市で今も観察できることはうれしいことです。しかし、ヒクイナやヨタカ、ササゴイなどは数十年前にはふつうに見られた鳥たちで、それが絶滅しそうだということは短い間に自然環境が悪くなったことを示しており、こわいことです。



ツグミ 提供：中山厚志さん

がいらいしゅ ○外来種

外国から輸入され、ペットとして飼われていたものが捨てられ野生化してしまった鳥や、狩猟のために放された鳥も報告されています。それはガビチョウ、インドハッカ、コウライキジです。ガビチョウは佐久市に入ってからさほど年数がたっていませんが、生息場所がかなり広がってきています。インドハッカはまだ長野県では記録がなかったはずなので、気になるところです。これら外来種は、日本の在来種(もともと日本にいた種)の生息を脅かすのではないかと心配されています。ペットを野に放さないことが大切です。

ほにゅう 哺乳類

アナグマ イタチ イノシシ カモシカ キツネ サル タヌキ ツキノワグマ テン ニホンジカ
ニホンリス ノウサギ ハクビシン ミンク



ほくが
アナグマだよ！

今回は、ノウサギ、カモシカ、ツキノワグマ、テン、アナグマなどを見たとの報告がありました。普段はなかなか発見できない貴重な動物です。特にカモシカは国の天然記念物、長野県獣です。

ところでハクビシン、ミンクは外来種(外国から来た種)であり、生態系への悪い影響も指摘されていますので、今後はその分布や行動などに注意していく必要があるかもしれません。

植物

イカリソウ ギンラン シロバナタンポポ チゴユリ フデリンドウ マムシグサ

フデリンドウやイカリソウは花が終わっているのによく見つけました。葉での区別ができるのはすばらしいと思います。

マツシグサ、チゴユリ、ギンランなどは家の近所や田畑のまわりに生えていませんので山へ行ったときにみつけたのでしょうか。よくご存知ですね。

感想 ～みなさまからいただいた感想をご紹介します～

- ・コウモリはあまり見れなかったけどツバメの巣は多く見られてすごいと思いました。
- ・コウモリがいたのがびっくりした。
- ・コウモリは見つけれなかったけどほかの3種類は見つられてよかったです。
- ・ミンミンゼミのなき始めがいつもより早い気がした。学校の一輪車広場に体長20センチくらいの小さなヘビがいた。(9月のはじめころ)
- ・7月ころからいる生き物が多くて、なき声とかがにぎやかだった。
- ・今年はセミの量が多かったです。
- ・とってもいろいろ生きものもいてにぎやかだった!
- ・佐久市にいっぱいいきものがいてよかったです。
- ・身近にこんなに虫がいてすごいなあと思いました。
- ・いつもは気にしないで通っている道もよく見るとセイヨウタンポポとかいろいろな物があってすごいと思いました。
- ・タンポポはもうすぐ秋にもかかわらず、わた毛がついているのが一つしかなかった。
- ・もっとこの5種類もさがしてみたいし、それ以外にももっと望月の生き物を見てみたいです。
- ・カエルは雨がふった次の日もいてびっくりしました。
- ・気づいたことで、まわりをよく見ると、たくさんの生き物や、植物がたくさんあって、「望月は、自然にあふれているな～」と思いました。
- ・いっぱい生き物がいるとわかった。
- ・台風の後イモリかヤモリがふえていた。
- ・夏はいろいろな生き物がいてびっくりしました。
- ・望月にはいろんな生き物がいたことがわかってよかった。
- ・いろいろな所に生きものがいたんだなと思いました。
- ・生き物がいろいろな気づかない場所にいたりしてびっくりした。

以上 望月小学校

- ・ツバメのヒナがかわいかった。
- ・谷川でいなごを見た。谷川で魚をとったりしている。
- ・夜、谷川でホタルをみた。
- ・家の前の谷川でホタルをみた。谷川でカエと魚を2匹とった。
- ・谷川にシマヘビがいた。家にホタルが来た。
- ・谷川でホタルのようちゅうを見た。魚をいっぱいとった。家でホタルを見た。
- ・夜家の前にホタルをみた。でも一匹だった。
- ・シカが畑をあらしてしまった。魚がいてとった。
- ・自転車で外に出かけた時夕又キをみかけた。
- ・コウモリがみたかった。散歩中にキジがみれた。
- ・うすだえきではじめてコウモリをみた。

以上 青沼小学校

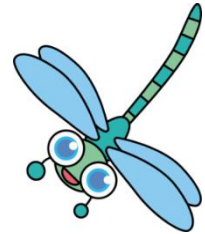
学校にあるビオトープを中心にたくさんの生きものを探してくれたね!



谷川で魚をとったり、いろいろな生き物に出会えたみたいだね!

- ・みじかにいろんなしょくぶつやいきものがあるんだなあと考えた。
- ・家のまわりにたくさんの生き物、しょく物があってびっくりした！
- ・コウモリはこわかったです。
- ・コウモリは初めて見た。
- ・コウモリが屋根うらに住んでいる。
- ・いつも何時にコウモリが出てきて、どこにいるのかわかりました。
- ・コウモリは今でも(7月～10月)とんでいる。
- ・よるカエルの声がいつもより小さかった。
- ・今年アマガエルがあまりいない。
- ・カエルは水の中でも地上でも生きられてすごいなあと思いました。
- ・ツバメの巣はそんなに見ない！
- ・今年ツバメの声が少しうるさい。
- ・ツバメの巣が身近にあった。
- ・セイヨウタンポポがいっぱいあった。
- ・タンポポがいっぱいさいていたので、すごいなあと思いました。
- ・何月でもいろんな生きものがあるんだなあと思いました。
- ・ミンミンゼミがいっぱいいました。
- ・ミンミンゼミはきょ年よりなき声をきかなかった。
- ・ミンミンゼミのなき声あまり聞かなかった。
- ・そんなにはやくセミがなくとは思わなかつた。
- ・身のまわりには、いろいろなところに生き物や植物があるんだなあと思いました。

身のまわりには、いろいろなところに生き物や植物があるんだなあと思いました。



- ・学校や家のまわりによく生き物がある。
- ・あまり身近で見つけられなかつた。
- ・生き物が自分の身近な近所にある。
- ・全て夏ごろにせいそくしていた。
- ・虫のことがよく知れた。
- ・虫のことがわかつた。
- ・生きものはいろいろなところにいるんだなあと思いました。
- ・身近な生き物が知れた。
- ・いろいろな生き物が見れてよかつたです。
- ・たのしかつたです。
- ・ふだんあまりそういうことには気にしないけど、気にしてみるといろいろな虫や植物があつた。
- ・いろいろな虫やしょく物があるのが知れた。
- ・生きものを身近に見れてよかつたです。



またツバメやコウモリをみつけてみてね！

以上 野沢小学校

- ・次はツバメの巣とコウモリを見つけてみたい。 臼田小学校
 - ・コウモリが大体育館にいるからびっくりした。 岩村田小学校
 - ・コウモリのなき声がおもしろかつた。今年ツバメの巣立ちがおそい。 中佐都小学校
 - ・ツバメの巣の下にはたくさんのふんがおちていた。ヒナは口をあけてエサをほしがっていた。
- 中込小学校

- 学校のベランダには毎日そうじをしてきれいにしても必ずフンが落ちています。毎晩飛んでいることが分かります。(コウモリ)
- 下校中の帰り道にいた。(アマガエル)
- 緑色のアマガエルがげんかんまえに、午後4時頃いた。
- カエルが午後5時ごろバトミントンをやっていたら出てきた。黄緑色だった。
- 午前10時頃、遊んでいたら、カエルが3匹飛びはねていた。
- マラソンコースで走っていたら一匹いた。7時40分頃(アマガエル)
- 学校のシーソーで遊んでいたら見つけた。(アマガエル)
- 朝、葉を見たら小さなアマガエルを2匹見た。
- 帰り道小さなカエルがいた。
- 田んぼでカエルがなかった。(10じごろ)
- 家の庭で遊んでいたらアマガエルがいた。
- 家の近くの川の中にいた。(アマガエル)
- 午後の2時くらいに庭の池で小さい黄緑色のアマガエルがいた。
- 2時頃家のかべの色で灰色になっていた。
- 午後2時ごろ、掃除のときに草取りをしていたときに小さなカエルが2匹出てきた。
- おばあちゃん家で遊んでいたら、川の近くにアマガエル1匹がいた。
- 3匹くらいとんできた。(コウモリ)
- コウモリがいっぱいいた。
- エサをあげていた。(ツバメ)
- 身近なところに巣がいっぱいあった。
- 朝マラソンをしていたら小川の近くにさいていた。(セイヨウタンポポ)



見た場所や数までくわしく調べてくれたね。

以上岸野小学校

- 例年は7月から鳴き始めるが、今年はアブラゼミも含め、鳴き声が聞こえ始めるのが遅い。環境の変化が関係しているのか。逆にいつも8月中頃から鳴き始めるヒグラシが7月中頃から鳴いていて不思議。
- ミンミンゼミは10月3日まで鳴いていました。
- セミの声は2～3日で終わってしまった。ショウトンボ、ムギワラトンボは8月の初めに2～3日見たきり。
- わが家の周囲はほとんどセミの声を聞かないのですが、今年はミンミンゼミを2度ほど、アブラゼミを1度ほど聞きました。
- セミが以前より少なくなった。ツバメも昔より少ない。タンポポは多くなった。コウモリは見ない。
- セミは最低気温12度になってから鳴かなくなった。
- 昨年と同じ日に鳴き始めた。(7/30～9/26) 昨年は9月27日まで鳴いていた。
- アマガエルの数が少なく感じます。減っているのでしょうか？
- メッシュ49では5月にシナノタンポポ、白花タンポポも咲いていた。6月にはアマガエル、セイヨウタンポポは毎日畑の道端や畑の中で見ていた。昔のカエルは雨の前に鳴き出し雨を知らせてくれたが、今は雨が降り始めてから鳴く気がする。

- セイヨウタンポポは冬でも咲いている。7月23日カナカナゼミタ方に鳴く。
- ツバメはお店の軒先等によく巣をつくっている。
- 巣は見かけないが、家の前の電線に巣立ちヒナが6羽肩を寄せ合っている。1～2日して姿を消した。
- 2つの巣で計6羽いたと思います。みんな無事に巣立ったようです。ツバメの数が例年より少ないように感じました。
- 夕方になると毎日飛んでいるようですが、私が見たのはこの日(8/13)のみ。2ひき
- ツバメは飛んでいるのは見ますが、巣はみませんでした。日本タンポポが絶滅しそうです。
- 草刈をしている田んぼにお別れにきて帰った。ツバメの最終確認8/29。別れに来たツバメを送るかのようにミンミンゼミの大合唱。ツバメが帰るのかなと感じ感動していたら次の日は飛ばなかった。
- ツバメは飛んできて巣はつくらない。
- 5羽の巣立ちを確認。えさ場がいい環境。
- 去年の巣を修理して使っていた。
- 朝起きたら巣が道に落ちていた。鳥の仕業かと思う。(ツバメ)
- コウモリはなかなか見つかりませんでした。子ども達にもっと環境に興味をもってほしい。
- 虫はかわいいな！
- 女石池周辺のゲンジボタル、ヘイケボタル生息地は貴重です。水路改修等で少なくなりがちです。環境改変を抑えていただきたい場所です。
- 10月1日になってモンキチョウが集団というくらい10匹位庭に飛んできました。
- 5月24日ホトトギスの声を聞いた。9月3日シマヘビ、9月25日ヤマカガシ
ミツバチ6月～9月30日まで受粉の手伝いをしてきている。

以上公民館学習グループ・一般調査員



東小学校・理科実験クラブから活動の様子が届きました！

まとめ～^{ちょうさ}調査して見えてきたこと～

生きものが^{かくにん}確認されたメッシュを見ると、佐久市には田んぼや畑、山々など、^{しぜん}自然が多く残っており、今回の^{ちょうさ}調査でもこうした^{ばしょ}場所にたくさんの生きものたちがくらしているということが分かりました。

一方で、^{かいはつ}開発が^{すす}進んでいる^{まちなか}町中からの^{ほうこく}報告がすくなかったことから、生きものたちにとっては^{かんきょう}住みにくい^{かんきょう}環境になっているところもあるかもしれません。

生きものたちには、それぞれにすみやすい^{かんきょう}環境があり、田んぼがよいもの、林の中がよいもの、ツバメのように巣をつくるための^{たても}建物があって、エサとなる虫がたくさんいるところでないとはすめないものもいます。

^{ふだん}普段なかなか^{かんきょう}気にかけることはないかもしれませんが、少し目を向けてみると、いろいろな^{かんきょう}環境にさまざまな生きものがいることに^{きづ}気付くのではないのでしょうか。

^{かんそう}感想からも、^{つうがく}通学路や^{にわさき}庭先など日々の生活の中でもさまざまな生きものに出会えること、その生きものたちにはそれぞれに^{とくちょう}特徴があることなど、^{ちょうさ}調査を通じてたくさんの^{で あ}発見があったということが分かりました。

これからも、身の回りの^{しぜん}自然に目を向け、^{みちか}身近にいる生き物たちが^{かんきょう}すみやすい^{みまも}環境を見守っていただきますようお願いいたします。

最後に…

市内小学校4学年のみなさん、浅科写真クラブ、おもと会、佐久おやじの会、山野草すみれ会、草友会、たんぽぽ俳句会、フォトアート浅科、野草に親しむ会等公民館学習グループの皆様、^{いっばんちょうさいん}一般調査員の皆様にご^{きょうりょく}協力をいただき、^{ちょうさ}調査を実施することができました。厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。



提供：市川正江さん

身近な生きものの生息分布調査

佐久市役所 環境部 環境政策課

〒385-8501

長野県佐久市中込 3056

TEL (0267)62-2111 (代表)

FAX (0267)63-1680 (代表)

URL <http://www.city.saku.nagano.jp>